

広島県の幼保小接続に向けた取組



令和7年2月10日(火)
広島県教育委員会
学びの変革推進部
乳幼児教育支援センター

遊び 学び 育つひろしまっ子!

豊かに感じ
気付く子

思いっきり体を
動かして遊ぶ子

遊びを
創り出す子

夢中でとことん
遊ぶ子

心を通わせて
遊ぶ子

本日の報告内容

1

広島県教育委員会の取組概要

2

架け橋期のカリキュラムの開発・改善に向けた体制づくりと作成プロセス

3

持続可能な取組とするための工夫

4

取組に係る成果と今後に向けて

【目指す姿】「遊び 学び 育つひろしまっ子！」の実現

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」
推進プラン(第2期)

～広島県の全ての乳幼児の健やかな成長のために～

令和4年3月
広島県
広島県教育委員会Ⅰ 子供の育ちのつながり
施策3 小学校以降の教育との
円滑な接続の推進

- ①学びの連続性を確保する教育課程の充実
- ②幼保小連携・接続の推進に係る仕組みづくり



1 「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業
(幼保小架け橋プログラム事業再委託)

2 幼児教育長期派遣研修

3 小学校初任者研修「園・所における保育体験」

4 ミドルリーダーのための園・所から学ぶ「遊びは学び」研修

5 各種研修

- ・小学校の幼保小連携担当教員対象の悉皆研修
- ・幼保小合同研修(教育センター専門研修講座)等

広島県教育委員会の推進体制(令和6年度)

- 市町の教育委員会と保育所管課が連携して本事業に取り組む4市町を指定し、事業の一部を再委託する。
- 架け橋期のカリキュラム開発会議を設置し、年2回、開催する。

R6指定市町幼保小連携推進協議会(4市町)

<指定市町幼保小連携協議会メンバー>

教育委員会、保育所管課、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校等

架け橋期のカリキュラム開発会議

その他の市町
(4市町以外)

協議への参加

県

・乳幼児教育支援センター
アドバイザーボード
・「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進検討会議

意見・助言

乳幼児教育
支援センター

連携・協力

関係課

・義務教育指導課
・個別最適な学び担当
・安心保育推進課
・学事課
・各教育事務所・支所

普及

・好事例、成果物等を、幼保小連携・接続の充実に向けた講演や指定4市町の好事例を共有する研修会等を通じて全県に共有

【取組内容】

- ① 定期的な協議会の開催
- ② 幼保小合同研修会の開催
- ③ 教育・保育内容の相互参観等の実施
- ④ 小学校における一人一人の子供の育ちや学びをつなぐ取組の推進・支援

【小学校における具体的な取組内容】

○園・所から送付される指導要録等の活用

○小学校教員等による園・所への複数回訪問

- ⑤ 架け橋期のカリキュラムの実施・改善
- ⑥ 地域の実情に応じた取組



①定期的な協議会の開催



③保育内容の参観

市町
保育主管課

市町
教育委員会

令和4年度 7市町指定
令和5年度 6市町指定
令和6年度 4市町指定
※これまでに延べ15市町を指定



広島県HPより

→ **県内全域で**
幼保小連携・接続の取組の推進

2

架け橋期のカリキュラム作成プロセスにおいて大切にしていること

○理念と記述と実践の往還



理念

目指す
子供像



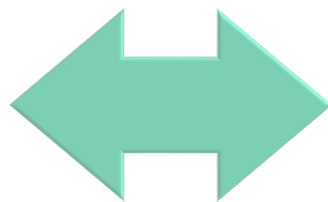
広島大学 名誉教授
朝倉 淳 先生
広島県架け橋期のカリ
キュラム開発会議委員

記述

カリキュ
ラム

実践

教育活動



学年別カリキュラム作成シート														
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
合計														



2

架け橋期のカリキュラム作成プロセスにおいて大切にしていること

○「子供の姿」を基にした対話

架け橋期のカリキュラム

期待する子供像、育みたい資質・能力

幼保小の先生が
対話を通して
一緒につくる

どのように資質・
能力が育まれたか
を振り返る

「架け橋期」の教育・保育の実践

2 県主催 架け橋期のカリキュラム開発会議

開催日：令和6年10月9日（水）

参加対象：指定4市の幼保小連携推進協議会メンバー、各市町担当者

内容：①指定4市の架け橋期のカリキュラム改善の取組報告

②広島大学 朝倉 淳 名誉教授 講話

③架け橋期のカリキュラム改善に向けてポイント協議

演習シート②
〇〇市立〇〇小学校 スタートカリキュラム計画

学校教育目標 自ら伸びる みんなで伸びる 令和6年10月9日作成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育てほしい児童の姿	入学意欲の発達の姿 ○小学校の学習に興味をもっている ○人の話を5分ほど聞く姿勢が培われる ○自分の思いはもっているが、表現が十分でなく、トラブルになることがある ○活動に対する意欲はあるが、自信がなく消極的になりがち 給筆の使い方や姿勢等、学習の約束を守る ・先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く ・先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く ・文字や数字、言葉に親しみ、読んだり書いたりする 先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く ・先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く ・先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く ・先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く 先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く ・先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く ・先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く ・先生や友達の話や体を最後まで黙って聞く											
主な学習活動	生活科を中心とした系統的・関連的な学習活動の実施 単元名「がっこうだいすき」(20H) 例) 国語「よろしくね」「こえをどけよう」 図工「すきなもののいっばい」 音楽「うたでつながってなかよくなろう」 特別活動「1年生を迎える会」 生活科を中心とした系統的・関連的な学習活動の実施 単元名「きれいにきいてね」(15H) 例) 国語「はなごのうたをうたう」 音楽「はなごのうたをうたう」 特別活動「はなごのうたをうたう」 1年生年間指導計画に基づく学習活動の実施 (含科的・関連的な学習活動を含む)											
環境構成(入・居・育)の工夫	【A】 ○教員は1年生が安心して過ごしたり話したりできるような学習環境づくりに努める ○1年生が早く小学校生活に慣れるよう、入学式翌日から、6年生がの準備・掃除・給食当番等 【B】 ○1年生が全校児童との関わりがもてるよう朝会や学年・学級の行事 【C】 ○一日の生活が自分で進められるようにするために、手帳の流れ、姿勢、片付け、ロッカーや靴箱、トイレの使い方 ○園・所で親しんだ玩具や絵本を教室に取り入れる 【D】 ○生活科を中心とした系統的・関連的な指導を行う ○入学当初は、15分スケジュールを取り入れるなど単位時間を柔軟に時間で行動する生活に慣れさせる ○学習のきまりを伝え、正しい姿勢で書いたり聞いたりできるように ○幼保小連携協議会を行い1年間の方針を検討する ○入学後、保育所等の保育士・教師に参観してもらい、連携を図る 【E】 ○学習発表会などの行事への取組を通して、学級・学年の友 ○縦割り班活動などを通じて協力する楽しさを味わわせる											

意図的に架け橋期としてつながりが
見えないカリキュラムを作成し、つな
がっていない部分はどこか、指導助言
のポイントは何かを検討することで、
改善の視点を共通認識した。



2 県主催 架け橋期のカリキュラム開発会議

スタートカリキュラム

ポイント

○環境構成は児童の安心につながっていたり、多様性を考慮されていたりしているか？

環境構成（人・もの・こと等） 【人】 ↓ ○教員は1年生が安心して過ごしたり話したりできるような雰囲気づくりに努める ↓ ○1年生が早く小学校生活に慣れるよう、入学式翌日から、6年生が生活のお世話をする（朝の準備・掃除・給食当番等） ↓ ○1年生が全校児童との関わりがもてるよう朝会や集会等を計画する ↓ 【もの】 ↓ 1年生の主体性が発揮される環境構成となっていないのではないか。 【こと】 ↓ ○生活科を中心とした総合的・関連的な指導を行う ↓ ○入学当初は、15分モジュールを取り入れるなど単位時間を柔軟に考えて計画し、段階的に時間で行動する生活に慣れさせる ↓ ○学習のきまりを伝え、正しい姿勢で書いたり聞いたりできるようにする ↓	【人】 ↓ ○学習発表会などの行事への取組を通して、学級・学年の友達との交流を深める ↓ ○縦割り班活動などを通して他学年の児童との関係をつくる ↓ ○小学校生活に慣れてきたことを褒め、継続する意欲をもたせる ↓ 【もの】 ↓ ○絵本や物語など学習につながる読書環境を整える ↓ 【こと】 ↓ ○2学期初めには学びの姿勢や準備等の立て直しを考慮した指導を行い、生活リズムの回復と気持ちの切り替えを図る ↓ ○当番活動を少しずつ増やし、責任感や自己有用感を感じる機会を増やす ↓	【人】 ↓ ・縦割り班活動などを通じて協力する楽しさを味わわせる ↓ ・お世話になった人への感謝の気持ちを表す場を設定し、感謝の 1年生の活躍の場を奪っていたり、型にはめる指導となっていないだろうか。 【こと】 ↓ ・姿勢や話の聞き方、話し方、約束事などについて、視点をもって自分の学校での生活を振り返る場を導入し、指導を行う ↓
---	---	--

2 市町主催 幼保小連携協議会・合同研修会

どの市町においても工夫を凝らして実践を通した研修が実施されており、「子供の姿」を基に取組を振り返り、架け橋期のカリキュラムの改善につなげている。

呉市



竹原市



安芸高田市



庄原市



理念と記述と実践の往還



2 竹原市の幼保小連携・接続に向けた体制整備

竹原市（令和4年度から事業受託）

R 4

幼保小連携推進
協議会を設置



R 5

相互理解研修の
充実



R 6

ブロックごとの
幼保小連携教育
研修の実施



R 7

ブロックごとの
幼保小連携教育
研修の自走

中学校区ごと
に各自研修を
計画・実施

幼保小の連携・接続の取組を各園・所及び学校が自走して行えるよう、市が長期的な計画の基、毎年ステップアップしながら推進を図っている。

2 竹原市の架け橋期のカリキュラム改善の実際

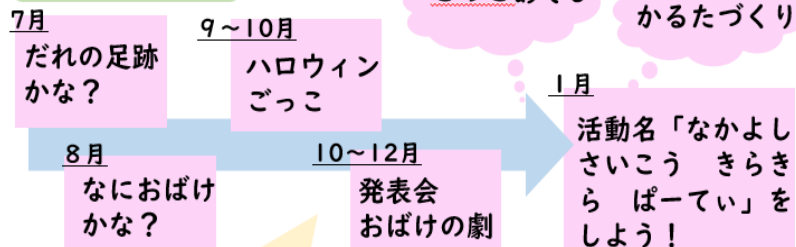
竹原市

タイトル:連携も改善も「やってみよう!楽しんで!!」

①改善に繋がった取組内容

○令和5年度 こども園と小学校が垣根を越えて連携し、目的を共有して、環境や援助を工夫した交流活動を行った。

園での遊び



なかよしかがやきパーティ①



なかよしかがやきパーティ②



小学校との
交流

こども園

- ・遊びの変化
- ・小学校生活への憧れ・見通し
- ・文字への関心・感覚、協同性
- 等10の姿に関わる育ち

小学校

- ・言葉による伝え合い等10の姿の強化
- ・各教科で育みたい資質・能力の育成

②気付いた改善点等

こども園

- ・大切にしたい重点項目を再確認
- ・子供の姿を10の姿で整理することの必要性
- ・カリキュラムを通した育ちを保護者へ広げること

小学校

- ・発達を踏まえた支援の具体について理解を深めた
- ・共通認識をもって組織的に取組を進める必要性
- ・年間を通じた計画的な指導を充実させること

③カリキュラムの変容

こども園

- ・アプローチカリキュラム内の園児の姿を10の姿で見直す
- ・10の姿に関わる掲示で子供の育ちを保護者と共有

小学校

- ・育ちを支える環境や援助等を教職員・6年生と共有
- ・資質・能力や経験をつなぐ視点を大切にしたい合科的・関連的な指導による単元計画の立案とカリキュラムへの反映

アプローチカリキュラム

Ⅲ期(1月～3月)		幼児期の終わりにまで育て欲しい姿	10の姿
生活する力	・基本的な生活習慣を身に付ける。	ア	・基本的な生活習慣を身に付ける。
	・1日の時間の見通しをもって生活する。	ア	・1日の時間の見通しをもって生活する。
	・着替えや整理整頓を最後まで自分でする。	イ	・着替えや整理整頓を最後まで自分でする。
	・思いを伝えたり、質問したりする。	ケ	・思いを伝えたり、質問したりする。
学ぶ力	・始業式・正月遊び・参	オ	・始業式・正月遊び・参
	・園の行事や遊びを通して感じる、考えたりする。	カ	・園の行事や遊びを通して感じる、考えたりする。
	・生き物の観察や飼育に関心をもって取り組み、命の大切さに気付く。	キ	・生き物の観察や飼育に関心をもって取り組み、命の大切さに気付く。
	・周囲の取組物の数を数え、数に興味や関心をもつ。	ク	・周囲の取組物の数を数え、数に興味や関心をもつ。
社会生活との関わり	・友達と遊ぶ。友達と遊ぶ楽しさを味わう。	コ	・友達と遊ぶ。友達と遊ぶ楽しさを味わう。
	・友達と相談したり試したりしながら遊ぶように、材料や用具などを準備しておく。	ウ	・友達と相談したり試したりしながら遊ぶように、材料や用具などを準備しておく。
	・活動の流れをイメージできるよう、タイムスケジュールを表示する。	エ	・活動の流れをイメージできるよう、タイムスケジュールを表示する。
	・活動の終わりに振り返りや感想を伝える。	エ	・活動の終わりに振り返りや感想を伝える。
10の姿で整理することで、育みたい資質・能力や活動のねらいが明確に			
健康な心と体		思考力の芽生え	
自立心		自然との関わり・生命尊重	
協同性		数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚	
道徳性・規範意識の芽生え		言葉による伝え合い	
社会生活との関わり		豊かな感性と表現	

学校教育目標

スタートカリキュラム

月	4	5	6
育ってほしい児童の姿	入学当初の児童の姿 ○園所では1日の時間の流れの見通しをもって生活していた。 ○自分の思いを言葉で表現しようとしている。 ○同じ園所の友達と、話し合い協力し合いながら活動している。 ○生活集団、環境の広がりや変化に期待や不安を抱いている。		
	園・所で育まれた資質・能力が明確になることで… 園所では、自分のできることが増えたよ。学校では、どんなお勉強をするのかな。楽しみだな！ 小学校ってどんなところかな？先生はどんな人かな？友達できるかな？給食はおいしいかな？		
	児童がわくわくする合科的・関連的な指導による単元計画の立案 「じぶんでできるよ あいうえお(4.5H)」 「かっこうだいすき いちねんせい」 「学校や学級のきまり」 「たのしい給食」 「うーっておどってなかなう」 「園園「あいさつでげんきに」		
	環境構成（人・もの・こと等） ・児童と一緒に活動を楽しみ、肯定的な声掛けや必要に応じた個別の支援により信頼関係を築く。（人） ・児童と笑顔で接し、児童の目線と話を聞く。（人） ・児童の関わりが増えるような遊びや学習を多く取り入れ、関係を形成していく。（人） ・登下校指導や地域ボランティア、保護者との連携により、安心して登下校できるようにする。（人） ・朝の支度、大休憩、給食、掃除等、必要に応じて6年生に見守ってもらえるよう、担任間で連携を図る。（人） ・整理整頓、順番、時間など、言葉や絵、時計などを用いた視覚支援を個に応じて行うことで、流れや手順が見通せるように、安心して活動できるようにする。（もの） ・園所で親しんだ遊びができるよう外遊びができるように遊び場を整え、なかよしタイムを行い、安心してカリキュラムマネジメントを積極的に合科的・関連的な指導を行う。 ・児童の興味・関心、園所や他教科・教科や生活場面、次の学習に生かす。		
と園・所との連携	・年長児と保護者、こども園の職員に運動会に参加・見学をしてもらう。 ・各所属長等が互いの入学式、入園式に参加をする。 ・公開研究会にこども園の職員を招待する。 ・生活科の公園遊びの時に、こども園と連携し、一緒に遊ぶ。		
	地域の方に見守りや、なかよしタイムの遊びの見守りをお願いする。 ・なかよしタイムにうりぼうの会による読み語りを取り入れる。 ・幼保小連絡協議会に向けての準備をする。		
	入学式、学級懇談会で、学校の教育活動やきまり等を伝え、共通理解を図る。 ・学級通信や懇談等で、児童の学習や生活の様子を伝え、保護者が安心感をもつことができるようにする。 ・スタートカリキュラム通信を発行し、本年度の取組を紹介する。 ・教材提示装置や電子黒板、タブレットなどICT機器を活用する。		
	・学級通信・「チャレン」するよう		

3 自立的な教育・保育の質の向上を目指した「育みシート」の活用

○「遊び 学び 育つひろしまっ子！」育みシート(通称「育みシート」)

《乳児版》

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」育みシート

広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター

このシートは、今、目の前にいる子供の姿をもとに見取り、それにどうすればよいのか、保育者同士が月齢や年齢はあくまでも目安でこと、その子らしさを認めようとする

0か月～5か月

発達の特徴	運動機能が著しく発達
関わるのポイント	子供が喜びや楽しさを感じる

心地よい関わりの中でゆったりと過ごす

- ・おむつ交換や衣服の着脱など、大人の応答的な関わりによって、清潔になる心地よさを感じる

身体を動かす心地よさを感じる

- ・手足を動かす、頭を持ち上げる、動くものを見つめるなどの自分の行為を、大人にตอบสนองしてもらうことで、身の周りの世界が広がる楽しさを味わう

《幼児版》

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」育みシート

広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター

このシートは、今、目の前にいる子供の姿をもとに見取り、どうすればよいのか、保育者同士が月齢や年齢はあくまでも目安でこと、その子らしさを認めようとする

	3歳児	～	4歳児
発達の特徴	様々なことに挑戦するが、「自立」と「依存」が行きつ戻りつする		人に対する興味や親しみが増え、自分中心の主張をしながらも周囲の意見を受け止める
関わるのポイント	挑戦しようとしていることを見守り、「やってみよう」という思いを支える		一人一人の感情や思いを受け止め、他者との思いの違いや多様性に気づかせる
生活習慣が少しずつ自立してくる			基本的な生活習慣が身に付いてくる
・衣服の着脱、食事、排泄など、自分でやってみようとし、できた時は保育者に見てもらい、喜ぶ			・園生活の流れを理解し、自分のことができるようになっていく
健康			
全身を使って、より活発に遊ぶ			全身のバランスをとりながら遊ぶ
・戸外で走り回ったり、飛び跳ねたりなど、自分のやりたいことを見つけて、できたことを喜ぶ			・友達や周りの人がしていることを見て、フープ、長縄、ボールなど、複雑な遊びに挑戦したり、一緒に楽しんだりする
・三輪車や固定遊具などを使った遊びを楽しむ			
自分でしようとする			自分と他者の気持ちに気付く

- ・生活や遊びの中で見られる子供の姿を記載している。
- ・乳児版(0歳児～2歳児)・幼児版(3歳児～架け橋期)の2枚がある。

3 幼保小連携・接続の推進を担う人材の育成

○小学校教員を対象とした保育体験研修の実施

(1) 幼児教育長期派遣研修(H30～)

【対象】小学校教職経験6年目以上の教師

【目的】本県の幼児教育の推進や幼保小連携・接続の中核を担うことのできる人材を育成する。

【内容】派遣先の園・所において一年間業務を遂行することを通し、設定した課題の研究を行う。



(2) 小学校初任者研修「園・所における保育体験」(R4～)

【対象】小学校教職経験1年目の教師

【目的】園・所における子供の見取りや支援の在り方等を体感し、自身の教育活動の充実につなげる。

【内容】事前・事後研修、1日保育体験(施設長等の講話を含む。)



(3) ミドルリーダーのための園・所から学ぶ「遊びは学び」研修(R6～)

【対象】小学校教職経験6年目以上の教師

【目的】園・所で育まれた資質・能力を各教科等における学習に生かすための指導の工夫や関わり等を実践するとともに、関係教職員に助言・支援できる教師の育成を図る。

【内容】事前・事後研修、一日保育体験(施設長等との子供理解を通して接続に係る協議を含む。)



4 本県の幼保小連携・接続に係る体制整備



○市町の幼保小連携協議会の設置数(23市町中)

	R3	R6
市町数	15市町	22市町



○接続期のカリキュラムを継続的に見直している市町(23市町中)

	R3	R6
市町数	1市町	22市町



○園・所等で保育参観等の機会を設けている小学校の割合

※「令和6年度 広島県児童生徒学習意識等調査 学校質問調査」より

複数回設けている	77.1%
1回設けている	19.1%
計	96.2%



4 教師の指導・援助及び子供の学びの変化

○幼保小接続の取組を通して、自身の子供への関わりや指導方法に変化があったと肯定的に回答した割合(委託自治体 5歳児・第1学年担任回答)

	R4	R5
園・所等	67.3%	73.0%
小学校等	85.4%	92.2%

【5歳児担任】

○自ら考え工夫して遊ぶことが、後に学習意欲に繋がることを意識して保育を行うようになった。

○今のこの遊びや学びが小学校のこの教科につながるのだろうなということを意識しながら保育をするようになった。

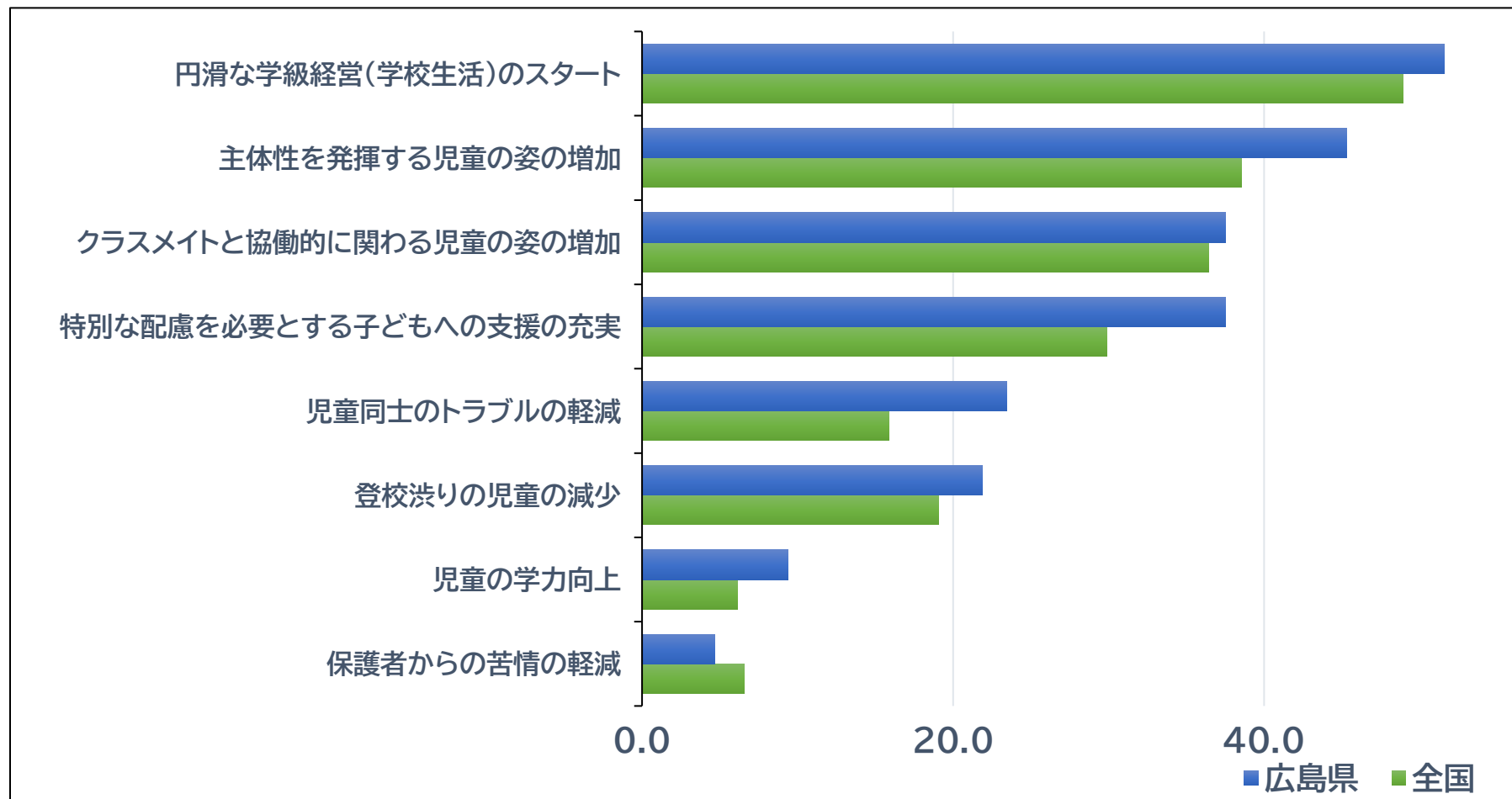
【第1学年担任】

○幼保の先生方から児童一人一人の発達段階を聞いたことにより、どのように個別の指導や支援をしていけばよいか明確になった。

○幼保での経験とのつながりを意識した学級経営を行い、子供が安心して、また自信をもって活動することができるよう心がけた。

4 教師の指導・援助及び子供の学びの変化

○幼保小の接続に取り組むことで改善された小学校の課題として次の項目を選択した割合(委託自治体 小学校第1学年担任回答)



※文部科学省「令和5年幼保小の架け橋プログラム事業におけるアンケート調査結果」より

4 今後に向けて

○「幼保小の接続を見通した教育課程の実践を踏まえた改善に取り組んでいる。」 ※「令和6年度広島県児童生徒学習意識等調査 学校質問調査」より

園・所等と協働して改善に取り組んでいる	69.7%
校内で改善に取り組んでいる	24.9%
今年度改善に取り組む予定である	4.5%
改善には取り組んでいない	0.9%

架け橋期のカリキュラム開発会議メンバーの声

架け橋期のカリキュラムの改善は行えているが、目の前の子供の実態に沿ったカリキュラムとなっているか、ねらいにつながる実践となっているかという視点では、質に差がある。

質の改善に向けて来年度の事業をブラッシュアップ！！

- ・園・所や学校の実情に応じた個別の支援
- ・幼保小接続の取組の好事例を収集、発信

A group of elementary school children in a classroom, standing in a circle and holding hands. They are wearing dark blue school uniforms. A teacher, wearing a black blazer and a face mask, stands on the right side of the circle, holding the hands of the children. In the background, there is a red and white grid board with numbers 1, 2, 3, and 9. The text "ご静聴ありがとうございました" is overlaid in the center of the image.

ご静聴ありがとうございました